

都市部の大規模木造施設を視察

令和5年6月8日(木)開催

○新潟地区国有林野等所在市町村協議会による大規模木造施設の視察会を開催

令和5年6月8日(木)、新潟県国有林野等所在市町村協議会による都市部における大規模木造施設の視察会が開催されました。

令和3年10月に、「公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律」が改正され、「脱炭素社会の実現に資する等のための建築物等における木材の利用の促進に関する法律」として施行されました。この改正法により、木材利用促進の対象が公共建築物から建築物一般に拡大されたところであり、このような中、2050年のカーボンニュートラル実現に向けて市町村が実施する各種事業の建築物においても、より一層の木材利用の促進が求められていることから、当協議会では、昨年度に実施した新潟県内の大型木造施設の視察会に引き続き、都市部における大規模木造建築物の視察会を開催したところです。

視察した施設は、株式会社大林組が次世代型研修施設として神奈川県横浜市に建築した、全ての地上構造部材（柱・梁・床・壁）を木材とした高層純木造耐火建築物「PortPlus」です。

当日は、遠方にもかかわらず3市から2市長等10名の参加があり、関東森林管理局2名、森林管理署2名を加えた14名での視察会となりました。開催にあたり、林協議会長（南魚沼市長）より開会のご挨拶をいただいた後、「PortPlus」へ移動し、株式会社大林組の営業総本部担当者様から施設全体の説明を受けてから、8階から2階（4階を除く）の各フロアを視察しました。

純木造耐火構造物としては、国内最高となる高さ44m（11階建て）の施設を視察して、木造建築物の素晴らしさと、これからの可能性を知っていただくよい機会となり、さらなる木材利用促進につながる有意義な視察会となりました。



全体の外観

PortPlus概要

株式会社大林組 次世代型研修施設

神奈川県横浜市に2022年竣工

木材使用量:1,990m³ 地下1階、地上11階

CO2固定量:約1,652t 材積率0.57m³/m²



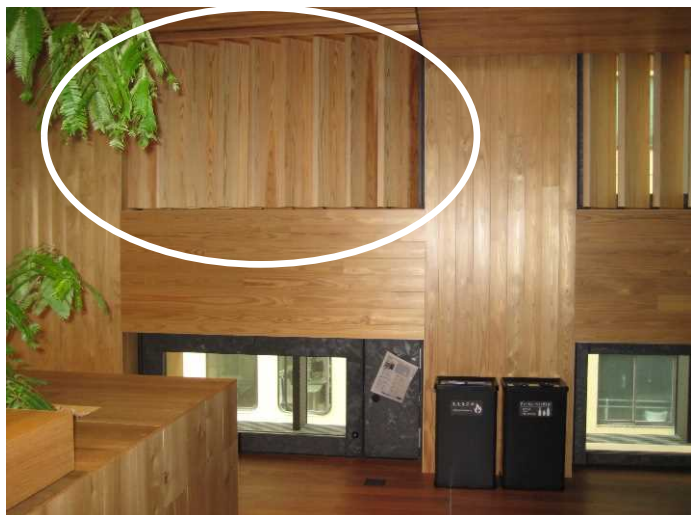
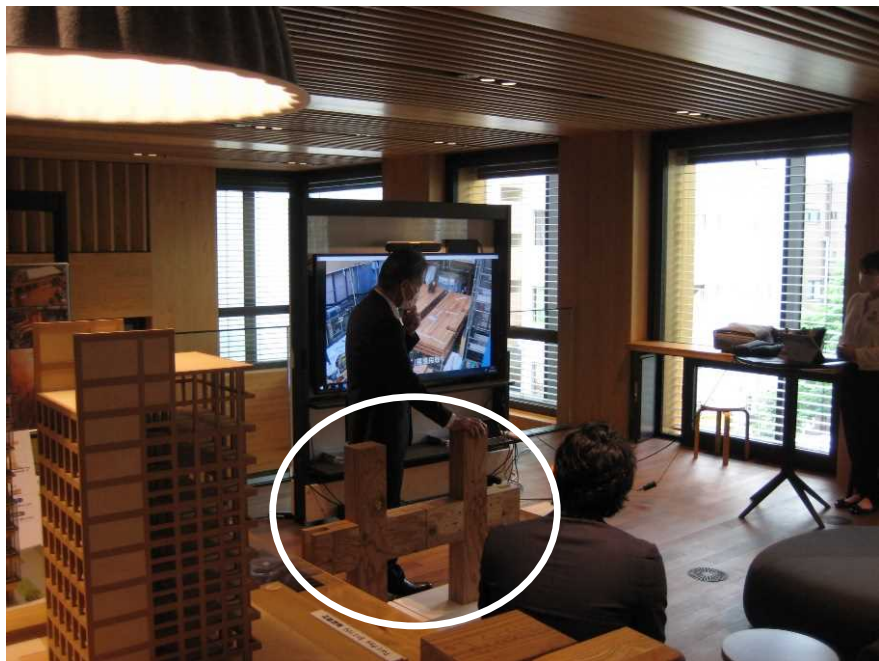
1F～3F外観

令和5年度 新潟地区国有林野等所在市町村協議会による木造施設視察会 (PortPlus) photo写真



3Fフロアでの説明

3F ユニットの説明



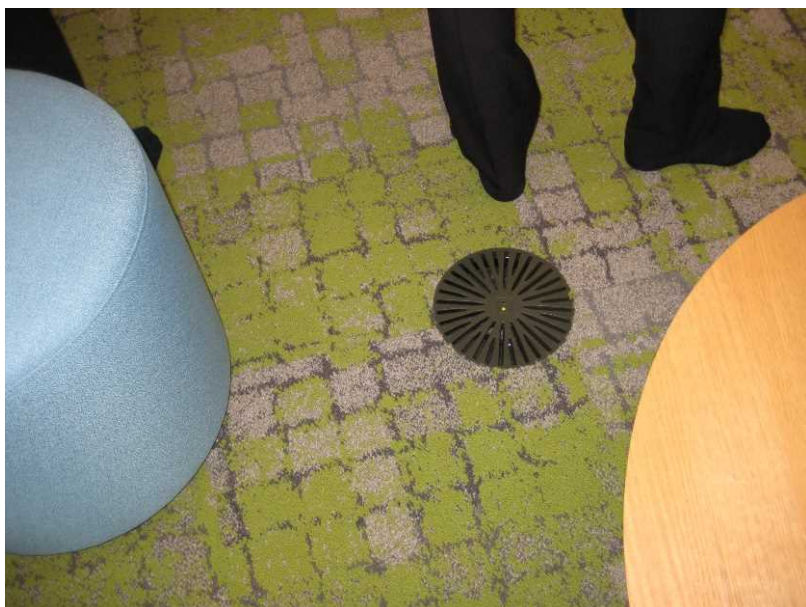
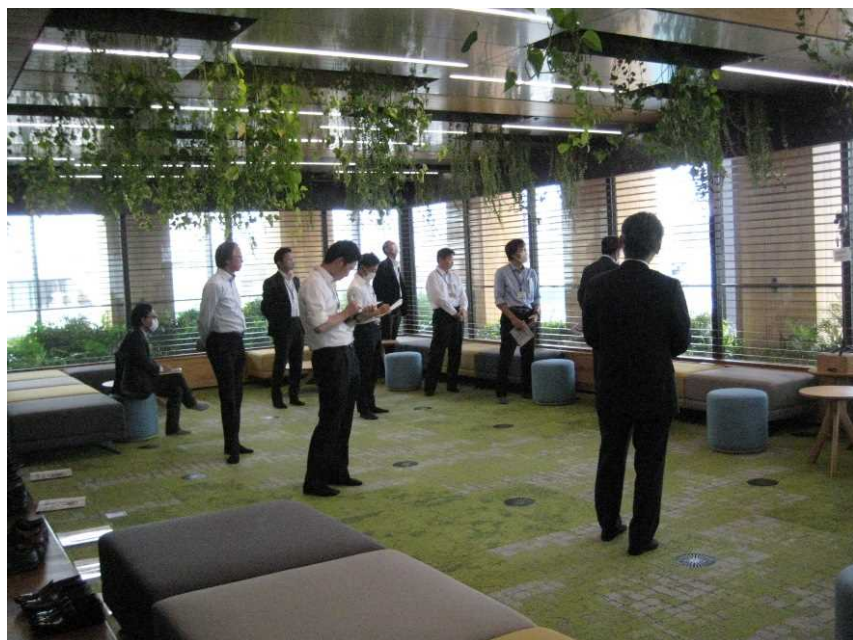
窓の目隠し

令和5年度 新潟地区国有林野等所在市町村協議会による木造施設視察会（PortPlus） photo写真



8Fフロア（ライトでフロアに照射）

8F 天井から本物の植物



床から空調

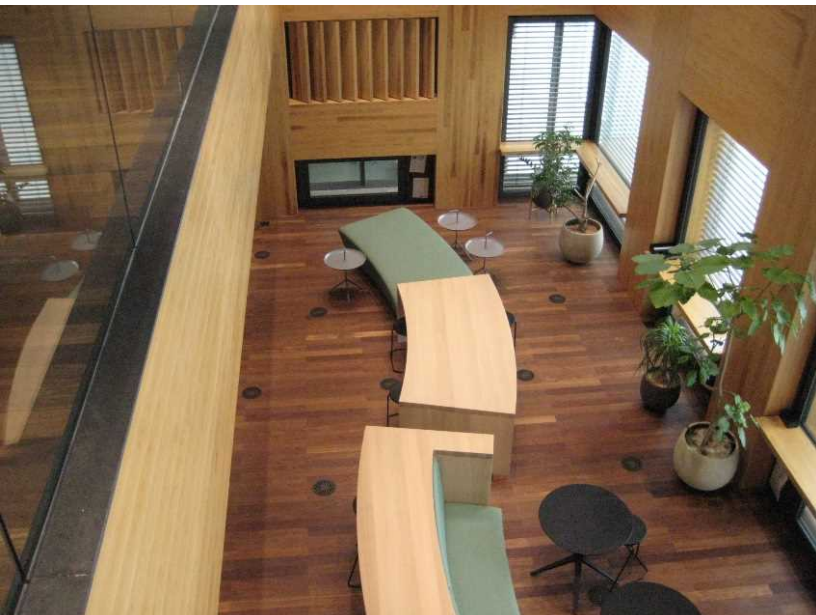
令和5年度 新潟地区国有林野等所在市町村協議会による木造施設視察会（PortPlus） photo写真



7Fフロア（ライトでフロアに照射）



表示パネルの説明
（発電量や使用電力温度管理、ブラインド操作など各種設定と操作）各階に設置



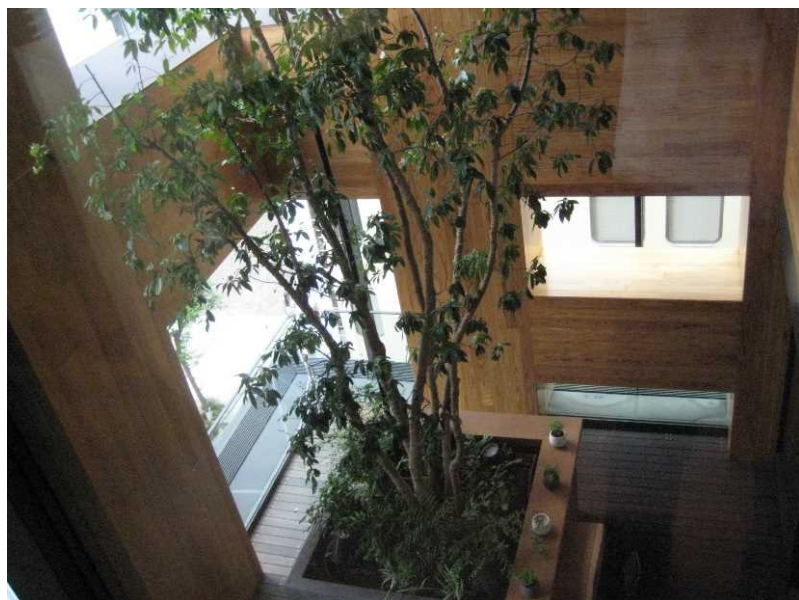
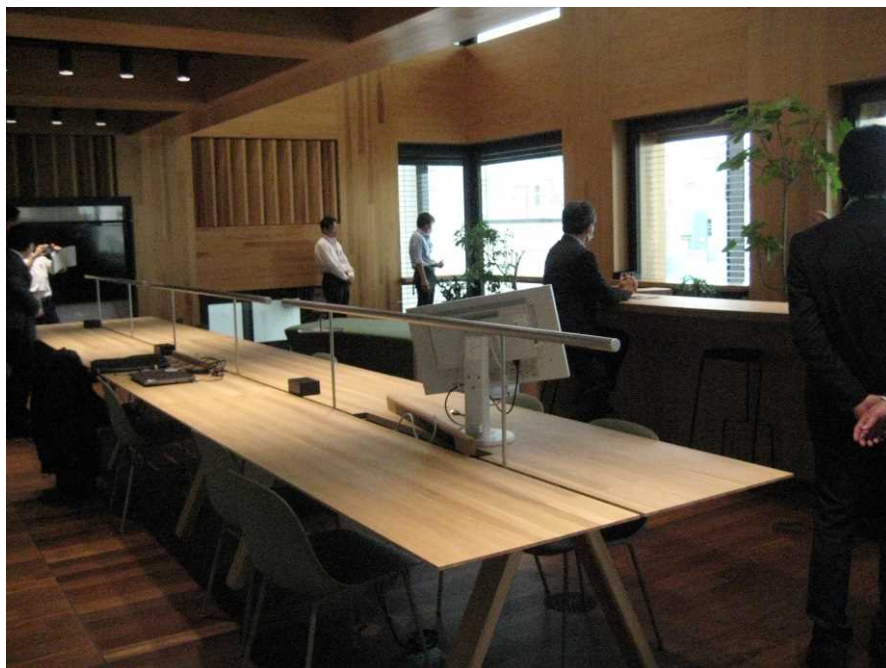
7Fから6Fの吹き抜け

令和5年度 新潟地区国有林野等所在市町村協議会による木造施設視察会 (PortPlus) photo写真



6Fフロア (ライトでフロアに照射)

ワークスペース



6Fから5Fの吹き抜け

令和5年度 新潟地区国有林野等所在市町村協議会による木造施設視察会（PortPlus） photo写真



5Fフロア（ライトでフロアに照射）

ほっとひといき空間



フロアから空調

令和5年度 新潟地区国有林野等所在市町村協議会による木造施設視察会 (PortPlus) photo写真



3Fフロア (ライトでフロアに照射)

階段とギャラリー



説明フロア

令和5年度 新潟地区国有林野等所在市町村協議会による木造施設視察会 (PortPlus) photo写真



3Fから2Fへの階段



階段



木彫りの賞状

令和5年度 新潟地区国有林野等所在市町村協議会による木造施設視察会（PortPlus） photo写真



2F ちょっとした
休憩スペース

タッチパネルでの説明画像



ブラインドも木材
（自動で開閉する）